



横浜市立永田小学校
～未来につなげ 笑顔あふれる 永田の輪～

学校だより 9月号

令和8年8月27日（家庭数配付）

「^わ輪～るとタイム」

校長 広木 敬子

夏休みが明け、子どもたちが元気に学校に戻ってきました。通学路やお祭りで出会ったとき、どの子も少し背が伸び、たくましさを感じられました。どんな夏休みを過ごしたか話してもらうのを楽しみにしています。うさぎボランティアの皆様の「こむぎ」の預かり、はなまる隊の皆様の校門やB棟前の花の水やり、そして田んぼや野菜の水やり当番にもたくさんの保護者の方に来ていただきました。お力添えいただき本当にありがとうございました。

この夏は災害のニュースが多くありました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、子どもの命を守るための本校の安全対策についても、しっかりと日常からの取組を続けてまいります。

南区では外国につながる子ども、日本語以外の母国語をもつ子どもが増えていて、本校も日常から多文化の学びに触れることのできる恵まれた環境にあります。世界の文化に触れて学びを深めるため、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジの方々との多文化共生活動に取り組んで3年目となりました。様々な国籍の方にボランティアとして来校していただき、文化紹介や遊び、ダンス、クイズ等で交流を図っています。

今年度は、さらに全校の子どもが多文化にふれあえることを願い、みなみラウンジの方と活動する時間を「輪～るとタイム」と名付け、年間に7回の予定で行っています。活動がある日は、ふれあい委員会の子どもたちが「今日の中休みは体育館で中国の太極拳を行います」「フィリピンのジャックストーンという遊びをします」「ぜひ来てください」などと明るく呼びかけます。興味をもった子どもたちが体育館に集まり、自然な形の交流が始まっています。子どもが子どもに呼びかけ、やってみたいと思う子どもが参加するこの活動が温かく豊かな「永田の輪」をつくりだしています。



太極拳にチャレンジ！

永田小短歌コーナー

「助け合いうれしさ広げる永田の輪」こんなめあてをみんながつくった！
うれしさは分け放題で届けよう ろうそくの火を分けるみたいに

※本日、本校の「交通安全推進校（R6.7）」の取組について、横浜市からのアンケートを「すぐーる」にて送らせていただきます。子どもたちの安全のため、ぜひご協力をお願いします。